

中部IT経営応援隊 ビジネスウェーブ21

6月14日(水)経済産業省が推進するIT経営応援隊事業の「一日IT経営応援隊」イベントとして、「2006年IT経営を考える 日 ITの戦略的活用のための経営革新セミナー」が吹上ホールで開催されました。

当セミナーの目的は、中小企業の経営者が、「IT経営」すなわち経営改革のための経営課題を解決するためには、ITの活用が最も重要であることに気付いてもらうということに重点を置きました。内容は、ITを戦略的に活用して儲けようという基調講演、IT経営革新事例発表、儲かる経営への転換を図ろうというテーマでのパネルディスカッション、税制改正説明会というプログラムで、別会場では経営革新等相談会も実施し、ITC中部のITコーディネータが10社の企業経営者の相談を受けるビジネスマッチングの場を持ちました。

集客については、金融機関から中小企業金融公庫、中部IT経営応援隊のサポーターであるベンダーワーキンググループ(SIベンダー12社)、過去の経営者研修会受講者、ITコーディネータとあらゆるチャネルを活用して広く呼びかけを行い、中小企業経営者を中心に300余名の参加者(内ITCが80名)が集まり大盛況でした。

今回の成功要因は、ITC中部のITCが中心となって金融機関を初めとする中小企業サポーターの方々が幅広く連携できたことに尽きます。

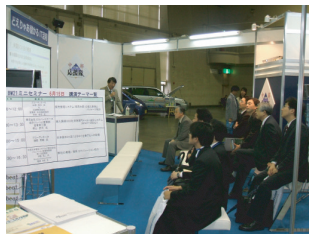
また、6月14日～16日の3日間、同じく吹上ホールで開催されたビジネスウェーブ21では、IT経営応援隊事業として「中部IT経営応援隊ブース」が開設され、ITC中部が運営を行いました。「中部IT経営応援隊ブース」では、ミニセミナーが、ITC中部会員5回、中部IT経営応援隊サポーターのベンダーワーキンググ

ループ所属企業6回の計11回実施され、大盛況でした。また、個別企業無料相談会、IT経営に関する各種資料の配布を行いました。

今後もこのようなイベントを有効に活用して、中小企業経営者にIT経営の重要性を促し、ITの戦略的活用の必要性に気づいた企業にITコーディネータが経営革新の支援をするというビジネスモデルを確立していきたいと考えております。

上記事業は、多くのITC中部会員のご協力で実施することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。今後もこのようなイベントなどで、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(ITC中部 鳥内 浩一)



ビジネスウェーブ21会場風景写真



経営革新セミナー風景写真

事務局便り

業界紙や中部経済産業局の経済動向によりますと、中部地区は、どの業種も生産増加、設備投資も活況を呈している等、我々ITCにとってありがたい経済活動となっております。会員の皆様におかれましては、この実感、実利を掴んでコンサルに精励してられる事とお慶び申し上げます。

さて、ITC中部も会員数が260名を越えて大所帯の組織となつてまいりました。会員の皆様には、より価値の高いサービスの提供や、広報支援、効率的な会員管理をしていけるようHPの改善などコミュニケーション手段の改良を徐々ではありますが見えてきております。但し事務局メンバーは、ボランティア精神旺盛ではありますが、暇を見つけての対応のため遅れ気味の改善でなかなか

予定通りに伸展していかないのが事務局の課題です。今後も、色々と皆様からのアイデアを戴きながら事務局実務を進めてまいりますのでご支援、ご指導を宜しくお願いします。

さて、前々回の事務局便りにて電話番号の変更ご連絡を致しましたが、改めて経費節減もあり、名古屋ソフトウェアセンター(NSC)のご理解を得て以下の電話番号に変更を致しております。お間違いないようお願いを致します。

ITC中部の事務局電話番号

052(883)1200・・・NSC呼び出し

(ITC中部事務局 高間 正俊)

NPO・ITC中部 広報誌

架け橋

KAKEHASHI

Vol.7

矢口副理事長の挨拶

ITC中部会員の皆様、ITC応援隊の皆様。

皆様には、ITC中部の活動に際しまして多大なるご協力とご支援をいただきまして、心から御礼申し上げます。これからも、ITCとITC中部の発展に向け、共に行動をお願いいたします。

2005年日本国際博覧会協会のITCとして。

昨年9月に閉幕した、2005年日本国際博覧会において、情報通信事業のITC業務については、先回の「架け橋」でご紹介いたしました。その中から、ITCとして感じた事を述べます。

今、ITCが岐路に立つ中で、この事業を経験した事は極めて有益であったと感じています。また、同時にITCを原点から見つめ直す絶好の機会でもあり、これからのITCも考えました。ITCとは、「経営者の立場に立って経営とITを橋渡しし、真に経営に役立つIT投資を推進・支援するプロフェッショナル」としてきます。然しながら、このミッションを業務として確立できているITCは、全国にどの位でしょうか?国際博覧会の中でも、「・・・真に博覧会事業に役立つIT投資を推進・支援する。」という点がうまく機能できなかった事などがありました。

今反省を含めて、これからのITCとしては、原点に回歸して「非効率なIT化投資の解消」「経営改革とIT利活用の推進」などCIOを支援する真のITC活動を実践することが使命です。その実践こそが、ITCの飛躍と確信します。

新プロセスガイドラインと新ケース研修。

経営環境の激変・ITの進展等様々の背景から、ITCプロセスガイドラインの喫緊の課題となり、制度発足から4年の知見の蓄積で本年6月に改訂され、協会のHPで一般公開されました。改定の基本方針では、普遍性と独自性を重視し、ITC制度4年を踏まえ「経営とITの融合」という制度発足の理念がより明確にされました。特に、「経営改革を実行する経営者を支援する」というITCの使命・役割をより明確に実行するために、「経営戦略策定」から展開・実行までを含めた「経営戦略」という章名・フェーズに改め経営戦略についての支援が従前より重視されるようになりました。また、同時にコンプライアンスおよびセキュリティも重視されています。

新プロセスガイドラインの改訂と共にITC試験とケース研修も新しく改訂されました。新ケース研修は、新教材が開発されて従前の教材にはなかった、



矢口 隆明 副理事長

ITC制度やリファレンスなどを学習する「座学」、研修の中で実際の現場と同じ状況をつくりだし、ケース企業の社長や役員に対するヒヤリングや承認を受けたりする「ロールプレイゲーム」などが導入され、新しくなりました。ITC中部の会員の皆様やITCの応援隊の皆様には、是非受講生のご紹介をお願いします。

「IT経営」を支援するITC。

「IT経営」とは、企業が利潤を追求して、競争力を高め、成長していくサイクルを永続させていく中で、企業の構成員、取引先、顧客なども巻き込んで、様々な取り組みを一連のマネジメント・プロセスとして実行していくことです。特に、(1)企業戦略に沿ったIT戦略を立案実行している。(2)ITの活用による業務改革によって業務活動を効率的、効果的に遂行し、必要に応じて様々な情報を入手できるITによる仕組みを確立している。(3)外部報告資料の信頼性確保のために、IT利活用によってチェック機能の自動化・省力化を達成している。(4)法令を遵守するとともに、法令違反をさせない仕組み、発見する仕組みをITによって達成している。

「IT経営」を推進する経済産業省では、日本のIT投資は今なお「2段階目(部門内最適)」の部分最適と位置づけています。できるだけ早い時期に「3段階目(全社最適)」に移り、最後は、「4段階目(企業間最適)」を目指しています。ITCは、今後この「IT経営」に対する支援を強化推進する事が、求められている次第です。

最後に、ITC中部の会員も260名余りになりました。今後は、交流・研鑽を積極的におこない、参加機会のある運営を推進したいと思います。

(ITC中部 副理事長 矢口 隆明)

NPO・ITC中部広報誌第7号 平成18年9月30日 発行

発行：NPO・ITC中部広報委員会(〒460-0022 名古屋市中区金山五丁目11-6(NSC)内)

発行責任者：NPO・ITC中部 理事長 水口和美 編集責任者：NPO・ITC中部 広報委員長 日比政博

ホームページ(<http://www.itc-chubu.jp/>)

目次

矢口副理事長の挨拶

1

2005年度総会・
研修会開催される

2

自主勉強会報告

2

「インターネット社会を
安全に暮らすための
講習会」

2

ITC活動事例「経営
改革を継続的に支援
するIT戦略」

3

中部IT経営応援隊
ビジネスウェーブ21

4

事務局便り

4

